

学校だより

鼓ヶ浦

平成19年4月27日発行

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校

平成19年度が順調にスタート

「明日も来たいと思う学校づくり」に向けて

春の深まりを感じる4月6日、平成19年度始業式に続き、保護者の皆様をお招きして盛大に入学式を開催いたしました。新入生代表の喜樂 学さんからは、「鼓ヶ浦中学校の伝統に磨きをかけたい、新しい友達と力を合わせ一生懸命がんばりたい、中学生という自覚をもって努力したい」と力強い誓いの詞がありました。本年度は、第1学年156名(5学級)、第2学年187名(6学級)、第3学年174名(5学級)、合計517名の生徒の教育に当たらせていただきます。

保護者の皆様、地域の方々の協力を賜りながら、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年度の重点として次のことに取り組みを進めてまいります。



学力向上に向けて

第1学年と第2学年は少人数学級で編制しましたが、第3学年では英語科と数学科で少人数授業を行い、一人一人の生徒に応じたきめの細かい指導に努めます。また、教員研修の主題を「確かな学力をはぐくむ指導の工夫」と設定し、基礎学力の向上と自ら学び、考え、表現できる力の育成をめざします。さらに、月曜日のサポートタイムや長期休業中の補充学習を充実させたいと考えています。

いじめの根絶に向けて

昨年度から社会的な問題となっている「いじめ」の根絶に向けた取り組みを進めます。具体的には、いじめ調査の実施と教育相談の充実、Q-U アンケート(楽しい学校生活を送るためのアンケート)に基づく学級集団づくり、いじめ防止啓発の取り組み等を実施する予定です。

生徒会活動の活性化

基本的には昨年度の生徒会活動の取り組みを継続しますが、生徒の声が反映されるような活動や「いじめ根絶」に向けた啓発活動の取り組みを進めます。